

大学院で**自信**をつけてから教員になりませんか

大学院で身につけた「**問題解決能力**」を学校現場に生かしましょう



金沢大学大学院教育学研究科
教育実践高度化専攻

<http://www.ed.kanazawa-u.ac.jp/di/>

**実践的指導力を高めたい
学士課程卒業者**

- 教員免許は取得したものの、教育実習の現場経験しかない
- もっと自信を付けて教壇に立ちたい
- 子ども達とうまくやっていけるだろうか
・ 学級経営・生徒指導
- 大勢の前でうまくしゃべれるだろうか
・ クラス・学年集会・全校集会
- 自分より年上の保護者や先輩とうまくやっていけるだろうか
・ PTA・保護者面談・職員会議・家庭訪問
- 授業科目への不安
・ いろいろな教科、科目を担当する
・ あまり得意としていない科目を担当する
- 授業の工夫はどうしたらよいか
・ 児童生徒を引きつける授業研究や教材研究をしたい
・ 児童生徒に専門的な内容をわかりやすく伝えたい
- 教科外活動への不安
・ 生徒会・部活動・学校行事

**スクールリーダーの資質を身につけたい
10年程度の教育経験者**

- 多忙、疲れ、マンネリ
若さだけでは指導しきれなくなった
- 2~3校勤務したが、前の学校の経験が役立たない、学校によって違う
- 教師としてこれから先10年位の見通しを得たい
- チームワークを組みたいが、新人教師が理解できない
- 自分の専門をブラッシュアップしたい
- 自分を見つめ直したい
- 児童・生徒(学生)が見えなくなった
- 保護者との対応がうまくいかない
- 他ではどうやっているのだろうか
- 自分のやっていることは正しいのだろうか
- 最新の教育実践と理論を学びたい
- 優れた教師の授業や理論を知りたい
- 特別支援教育の理論と方法を学びたい
- 不登校・いじめ・問題行動について学びたい
- 高等教育機関に勤めているが、もっと教育力を高めたい

現職教員・学士課程卒業者と一緒に学び共同研究

優れた教育実践を行っている学校現場等をフィールドにした3段階の実践研究

学校教員と大学教員の連携による実践と理論の融合

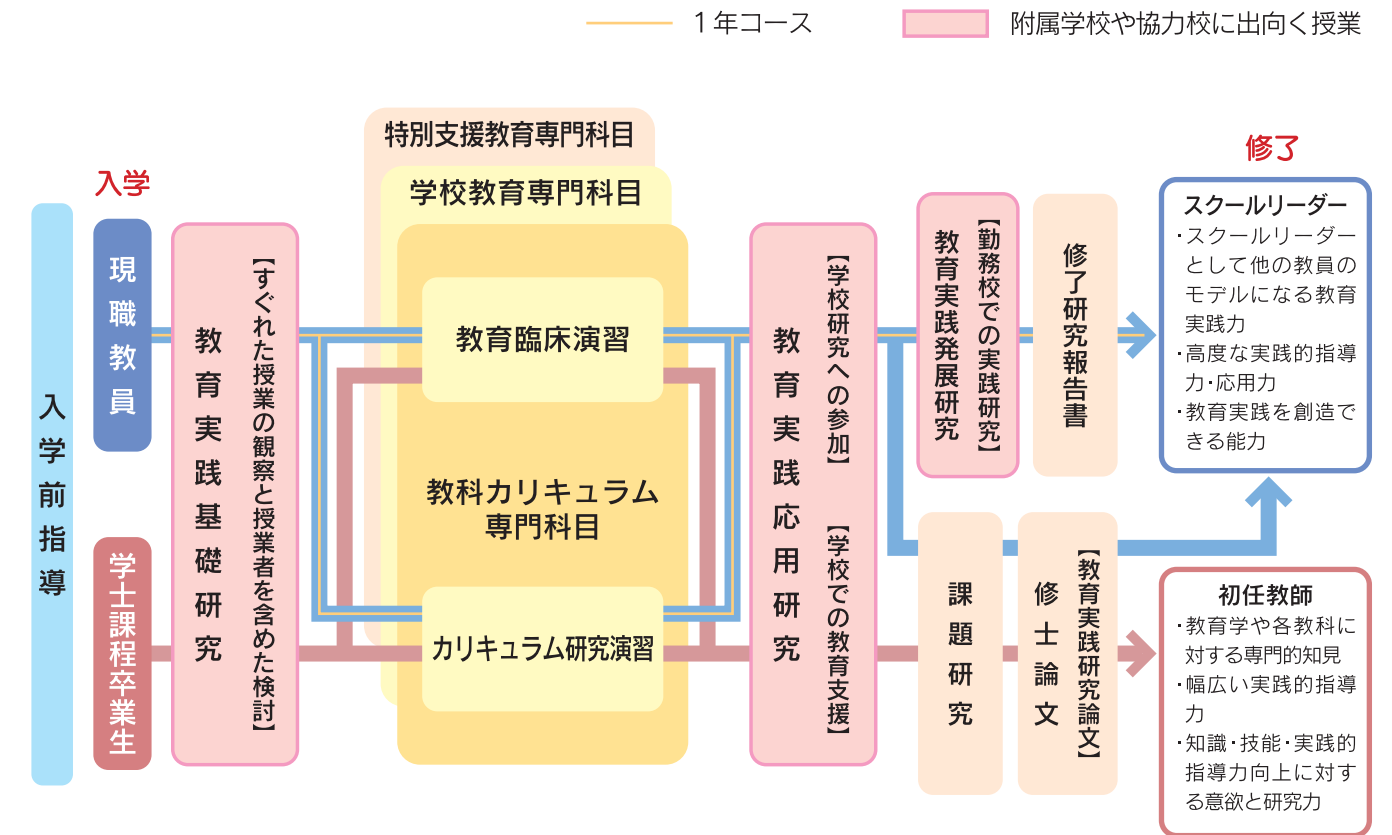
教 育 実 践 力 の 向 上

即戦力教員

スクールリーダー

コースの教育目的

教育臨床コース	教育や学校についての原理的・基礎的な研究を踏まえながら、教科教育内外の多様な臨床的諸問題を解決できる力を育てます。
カリキュラム研究コース	学校におけるカリキュラム上の諸課題に照らして、教科等に関する高度な専門的知見を活用できる力を育てます。
特別支援教育コース	学校における特別支援教育に関する諸問題を、原理的及び臨床的な研究を総合しつつ解決できる力を育てます。



これまでになかった新しいタイプの授業科目



●教育実践基礎研究●

附属学校や協力校の授業を参観し、その実践について授業者および大学教員を交えて議論することを通して、教育実践に対する見方を習得し、すぐれた教育実践を可能にする基礎を学びます。

●教育実践応用研究●

附属学校や協力校における授業補助などの学校支援または学校研究への参加などを通して、教育実践基礎研究で培った教育実践の見方・考え方を実際の場面に応用し、総合的な実践力を高めます。



●カリキュラム研究演習●



教科・学校種の枠を越えた視点から、教材の分析、それに基づく教室での扱いなど、カリキュラムについての創造的な討論を行います。

取得可能な教育職員免許状の種類

教育職員免許状の種類	免許教科・特別支援教育領域
高等学校教諭専修免許状	国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 書道, 保健体育, 工業, 家庭, 情報, 福祉, 英語
中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語
小学校教諭専修免許状	
幼稚園教諭専修免許状	
特別支援学校教諭専修免許状	聴覚障害者, 知的障害者, 肢体不自由者

● 所要の基礎資格を有する者で、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得したときは、基礎免許状に対応する上記の表の専修免許状が取得できます。

短期修業制度について

5年以上の教員経験を有する方で、事前相談により、「教育実践発展研究Ⅰ」に相当する研究経歴、研究業績、研究計画を有すると認められ、かつ「修了研究報告書」の作成計画を有すると認められた場合には、標準修業年限1年で修了することができます。

(本制度適用希望者は必ず事前相談を受けてください。)

長期履修制度について

有職者で職務上の理由から著しく学修時間の制約を受ける方、家事・育児・介護等に従事している方で著しく学修時間の制約を受ける方、その他本研究科で認められる事由がある方は、在学年限の範囲内で長期履修制度の適用を受けることができます。

さらに詳しい情報はHPで。 <http://www.ed.kanazawa-u.ac.jp/di/>

発行：金沢大学大学院教育学研究科
問い合わせ先：角間北地区事務部学生課学務第四係
TEL(076)-264-5600~5603 FAX(076)234-4131